

幕府の政治と人々の暮らし()時代 #6 名前()

「人々の暮らしと身分」 教科書142～143 資料集80～81

めあて

《大事ポイント！江戸時代の人々の暮らし》

◎武士は世の中を支配する身分＝えらいのだ！

江戸幕府のもとでは、()が世の中を支配する身分とされ、()を名のり、()を差すなどの特権を認められた。()や()は武士の暮らしを支える身分とされた。

◎百姓や町人は、武士の暮らしを支える身分なのだ！

《百姓の暮らし》

【考える】教科書P.142や資料集を見て、百姓はどんな暮らしをしていたのか想像してみましょう。

幕府は、百姓に対して、村ごとに()を納めさせるとともに、()というしくみをつくり、年貢を納められない者や罪をおかすものが出ると、()で責任を負わせるようにした。

資料集81ページをチェック☆

《町人（職人・商人）の暮らし》

【考える】教科書P.143を見て、町人はどんな暮らしをしていたのか想像してみましょう。

江戸や大阪などの都市には、たくさんの職人・町人が移り住み、商工業をさかんに行っていました。町人は、百姓のような重い年貢はまぬがれましたが、町を整備するための仕事や()を負担しました。

【考える・まとめる】江戸幕府はどうやって人々を治めたのでしょうか。教科書142ページの「身分ごとの人口の割合」や143ページの「百姓に対する法令」をもとに考えましょう。

